

愛知県震度観測・調査研究結果 - 第24報 - の概要

1 調査の概要

県内全市町村で設置している計測震度計等による震度情報ネットワークの震度観測データを活用して、平成16年に発生した地震と震度に関する調査結果をまとめた。

また、トピックスとして、紀伊半島南東沖地震と東南海地震との関係について及び津波に関する意識調査の報告を掲載した。

2 愛知県震度観測・調査報告書 - 第24報 - の概要

(1) トピックス

ア 紀伊半島南東沖地震と東南海地震の関連性

(名古屋大学大学院環境学研究科 安藤雅孝教授)

平成16年9月5日に発生した紀伊半島南東沖地震に関して、前震と本震の揺れ方、震度分布、マグニチュードの違いにより地震の特徴を説明し、プレート上の震源位置により東南海地震との関連を説明した。また、緊急地震速報システムの体験談、震源近くの海底地殻変動の観測など新しい試みを紹介している。

イ 津波災害時の避難に関するアンケート調査結果

(名古屋大学大学院環境学研究科 田中重好教授)

紀伊半島南東沖地震後、津波危険地域の指定がある8市7町の居住者を対象に実施したアンケートから、津波への関心、紀伊半島南東沖地震時での災害情報収集行動、避難行動、また、普段からの津波に対する意識の問題点をあげ、地震発生時に津波を連想することの重要性や、ハザードマップへの関心性の向上等、今後対応すべき課題を列挙している。

(2) 震度観測資料

ア 平成16年(2004年)の主要地震

国内では、被害を伴った地震は10回で、死者・行方不明者を伴う地震は10月23日に発生した新潟県中越地震の1回であった。

世界では、人的被害を伴った地震は、60回あり、死者10名以上又はM8以上の地震は12回でした。なお、平成16年中の世界最大の地震は、M9を記録したインドネシア・スマトラ島沖地震であった。この地震は死者15万人以上という甚大な被害をもたらした。

イ 愛知県内の震度観測資料

平成16年中に、県内のいずれかの市町村で、震度1以上が観測された地震は44回発生した。県内での最大震度は4で、(9月5日、紀伊半島沖、同日、東海道沖)により観測された。

3 調査研究成果の活用

調査報告書は、防災会議に報告するとともに、防災関係機関、市町村に配付し、地震防災対策の基礎資料として活用する。

また、県民が自由に閲覧できるように公立図書館、県民生活プラザ等に配付し、地震についての理解を深めてもらう。